

平成30年度
第3回朝日地域振興懇談会

会議録（概要）

期日：平成30年10月30日（火）

場所：朝日庁舎 大会議室

平成30年度 第3回 朝日地域振興懇談会会議録（概要）

- 日 時 : 平成30年10月30日（火） 13時30分から15時45分まで
- 会 場 : 朝日庁舎 大会議室
- 出席委員 : 成沢日登司、小野寺太、佐藤清、佐藤宥男、渡部智也、難波智明、渡部巖、
帯刀とく子、渡部昌樹、山口弘美、工藤悦夫、渡部小枝、渡部順子
- 欠席委員 : 佐藤泉三、宮崎正視
- 市側出席職員
 - 【庁舎】朝日庁舎支所長、総務企画課長、市民福祉課長、産業建設課長、
総務企画課職員
 - 【本所】企画部地域振興課職員

一次 第一

1. 開 会
2. あいさつ
3. 協 議
 - (1) 朝日地域振興計画について 資料1
 - (2) 地域まちづくり未来事業について 資料2
 - (3) その他
4. その他
5. 閉 会

1. 開 会 13時30分（進行 総務企画課長）

2. あいさつ

会長

皆さん、こんにちは。今日は大鳥も霰が降ってきて初雪が見られました。そんな中多数お集まりいただきありがとうございます。皆さんそれぞれ冬支度もあるなか大変だと思いますが、本日の会議をスムーズに運営できるようご協力をお願いします。

朝日庁舎支所長

皆さん、こんにちは。本日は大変天気が悪く、そして秋始末で大変お忙しいところ第3回朝日地域振興懇談会にご出席くださいまして誠にありがとうございます。

さて、大変暑く大雨災害などが続いた今年の夏でしたが、朝日地域においても災害が発生しており、大針（小綱木）では一時的に自主避難をしてもらいましたが、現在は無事に帰宅し生活を再開しているところです。ただ規模が比較的大きな災害であったため、現在本所の関係各課及び県と相談し、早期に復旧したいと考えているところです。また、会長のあいさつでもありましたが、今朝のニュースでは月山に初冠雪があったとのことでした。いよいよ冬がそこまで迫っていると感じております。

本日の懇談会ですが、前回の会議でお示した朝日地域振興計画と地域まちづくり未来事業について、さらに整理と肉付けをした形で提案させていただいておりますので、委員の皆様から意見を賜りたいと思います。皆さんからいただいた意見を12月に開催される地域まちづくり未来事業検討会議の案として、また来年度予算要求に活かしていきたいと考えています。なお、市全体の総合計画の策定にあたりましては、現在5つの専門委員会での基本構想、基本計画の検討がほぼ終わりました。今後は総合計画審議会での審議、市長への答申、市議会3月定例会への提案ということで、年度内の成立を予定しているところです。今年度は4回の懇談会を予定していますが、4回目の会議は来年1月の予定です。皆様にはこれからもお手数をおかけしますが、よろしくお祈りを申し上げます。

3. 協 議

会長

それでは協議（1）について事務局の説明をお願いします。

会長

ただ今事務局から説明がありましたが、皆様から質問、意見をいただきたいと思っております。

委員

二、三点お尋ねします。ひとつは、鶴岡市総合計画の基本計画（素案）参考資料1について、5ページからの施策の大綱素案からになりますが、はっきり言って私は理解できませんでした。あまりに文章が長く、どこに焦点があるのか、項目一つ一つを整理しようとするのが大変でした。一般市民向けとしては、箇条立てにすると分かりやすい言葉などで表現をしたほうがよいのではないかと思います。言っていることは立派で作成担当にすればあれもこれも言いたいのは分かりますが、市民

向けのものとしてはどうかと思います。読んでいて面倒くさく、内容も同じようなことが出てきたり、せっかく作ってくれたのに申し訳ないですが非常に読みづらかったです。それから、朝日地域の自然環境は合併前からずっと同じであり、変わってきたのは人口減少と高齢化の問題が大きくなり、反面便利になったものも情報網や交通網などももちろんあり、文化度や便利度など高くなった反面、不便なところには住みづらいということだろうと思います。従って今回このように地域の特徴をより明らかにして施策に打ち出すことは良いことだと思いますし、予算も既存事業との整合性がどうなのかなど見えないところもありますが、いずれにせよ住民と共に朝日庁舎にいる職員が一緒になって地域の課題に取り組むのはよいことだと思います。その中でも、記述の中に福祉に関することが手薄ではないかと感じます。それから朝日地域振興計画（資料1）の7、8ページと、9～11ページに全く同じような記述が見えますが、どのような整理なのでしょう。

事務局

朝日地域振興計画の全く同じような記述というのは、前段で主な施策を記述し、後段でその施策の具体的な展開施策を記述しているものです。そのため後段であらためて主な施策を再掲し、その下に関連する具体的な展開施策を記載しているものです。

市民福祉課長

ご指摘の福祉の記述について説明させていただきます。子育て環境等については全市共通の課題であり、市の制度として作り上げていくものもありますので、参考資料1の6ページに健康福祉社会をどう形成していくかという記述のとおり、全市的な内容として網羅されています。それとは別に朝日地域固有の課題という事で、例えば朝日地域振興計画（資料1）8ページの⑤高齢者がいきいきと生活できる環境整備、ということ載せています。

事務局

総合計画については、事務局の政策企画課で現在とりまとめをしていますが、7の地域振興の章に関わっているため説明させていただくと、皆様に提案している文案が作られた後も、それぞれの専門委員会等で検討を重ねております。お手元の資料の素案自体は、総合計画としてまとめた形にするにはまだ粗削りな状態のもので、小中学生でもわかりやすいような表現を心掛ける、長文にしないよう表現を直す、難しいカタカナ語などを使いすぎないようにするなどの統一的なルールを設けながら素案をさらに直して、具体的な施策として箇条書きの説明も加えたものを作っているところです。そのため、資料としては作成途中の段階となっておりますので、ご指摘はもっともですがご理解をお願いします。

委員

分かりました。素案とのことですので、新聞の記載も小学校5、6年生を基準にした構成になっている訳ですが、そのような年齢の人も読んで理解できるようよろしくをお願いします。

委員 朝日地域振興計画の8ページ中段に①中山間地域における持続的な農業体系の整備に、地域内農産品の生産振興や新たな特産品開発とありますが、現在具体的に考えているものがあれば教えてください。

産業建設課長 地域内農産品としては朝日地域の特徴である山菜、菌茸、山ぶどう、これらが大きいと思います。特産品開発は山ぶどうやきのこを使って、例えば炊き込みご飯の素や山ぶどうを原料としたドレッシングなどをSPD（あさひむら特産品開発協議会）で試作するなど開発を行っています。既に産直あさひ・グーなどで商品化されているものもありますが、具体的なものとしてはこのようなものとなります。

会長 菌茸類の補助事業について、昨年から申請にあたりグーに出荷することが補助要件となり、なぜタキタロウ館に出荷した場合はだめなのかと大鳥の人も困っています。特に今年は申請したもののキノコの出が悪く、グーに出荷する余裕もなく、補助金も返還しなければならないのかと悩んでいます。タキタロウ館に来るお客もいなくなり、潰れてしまうのではないかという人もいます。

産業建設課長 補助制度のグーへの出荷要件は、購入を補助した種からできたキノコのうち約半分をグーに出荷する事としたもので、全量グーへの出荷を義務づけたものではありません。その理由は、グーは朝日の特産品を地域外へ発信していこうという施設であるという事と、種菌に補助するという事は、一般的に商売や農業をしている方にしてみると仕入れに補助すると捉えられかねないと言えます。朝日の人は仕入れに補助をもらって売上は自分のものになるのかと非難を受けないよう、あくまで地域の特産品を外部に発信するため、という目的に対する補助となっています。また、年によってはキノコのできが悪い時ももちろんあると思いますので、単年でなく3年間で目標の出荷量をグーに出荷してもらえればよいという制度となっており、単年で判断して補助金返還ということはありません。まずは一度グーから外へ発信し、大鳥のタキタロウ館に行けばもっといいキノコが買えるというふうに足を伸ばしてもらおう施策となっていますので、ご理解いただきたいと思います。

委員 朝日地域振興計画の7ページ、①自主防災活動と防災基盤の強化という事で、現在地域ぐるみで防災に対して活動していますが、最近消火栓の放水訓練を行うとホースの劣化がかなりみられるようです。それらを更新する際の補助などはどうなっているか聞きたいです。

総務企画課長 朝日地域では消火栓ボックスとホースに関しては、合併前は村で整備したという経過もありましたが、合併後は自主防災組織が交付金の中で更新するようになりました。平成23年頃、ボックスに関しては電源立地交付金を活用し、市でそのとき限りということで更新、整備をしましたが、ホースがそのままというところが多いことはこちらでも理解しており、また過去の地域審議会や地域振興懇談会でも大変要望が多かった内容です。そのため、今回地域まちづくり未来事業の中で、ホースな

どの資機材にも補助など、ある程度の支援をしたいと考えています。昨年度も実は予算要求をしていましたが、財政局より朝日地域だけ特別扱いはできないと言われた経過がありますが、こちらの主張としては初期消火に関して消防分署が近いところは5分で消防車がきて常備消防が消火活動にあたるわけですが、分署から30分もかかる地域もあり、また分署で救急車が出ている時は消防車が出られないという状況も考えられます。そのため初期消火には特に消防分署から遠いところは消火栓に頼るところが大きいので、そういった不均衡を埋める形で初期消火体制の充実を市で責任をもってやるべきだと主張しており、予算要求をしていきたいと考えています。

委員 10ページに鳥獣被害防止の取組を推進しますとありますが、幸い今年は猿や熊の被害も大したことは無いようですが、例年であれば被害がかなりあると思うのでしっかりと対策をお願いします。それから山菜等の種苗補助についても、今は若干の補助しかないと思いますので拡大をお願いします。

産業建設課長 要望の件については従来やってきたことですので、今後拡大するなり地域に恩恵が伝わるようがんばっていききたいと思います。

会長 前回私はこのジビエ施設について話をしましたが、予算要求の一覧にもものっていますので来年ぜひ実現するようにお願いしたいと思います。

委員 農林業の次世代の担い手が少ないと考えています。ますます今後山林が荒廃する恐れがある中、山林の次の担い手の教育をしっかりとすることで今後の山林の保全にもつなげていければと考えていますので、そのような文言を入れていただければと思います。

産業建設課長 山林の担い手教育として、全市の小学生を対象にみどりの少年団事業という取組みを行っています。これは小学生に参加を募集し、簡単な植樹活動や山に親しんでもらうようなイベントを企画しているものです。ぜひとも拡大していきたいですが、あさひ小からの参加者はいないと記憶しております。なにぶん今は小学生も学校の勉強以外にスポ少や塾など忙しいため、募集してもなかなか参加は難しいと思いますが、啓蒙活動を行っていききたいと思います。本文の文言については検討させていただくということでよろしくをお願いします。

委員 次世代ということで小学生を対象とした事業を説明していただきましたが、実際中心的に作業しているのは高齢の方で、その方がリタイアした時、すぐ次の担い手に対する教育という、ごく近い将来に対することとして私はイメージしていたのですが。

産業建設課長 初期の森林の間伐、下刈り等保育作業について、森林組合では集団專業というこ

とで一人の山主から受託するのではなく、一定ブロックを共同でやる形で間伐、下刈りを補助事業を取り入れて対応しているところです。森林組合が集団的にやるということで費用も安く抑えられますので、今後このような制度も啓蒙していくことで森林所有者の負担を軽減していきたいと思います。

委員

9 ページの④にあるとおり、朝日で一番困るのが雪だと思います。冬季間になると朝日では道路除雪が他の市街地などよりも良いと言われますが、大きい道路から外れたところの除雪が非常に大変なことが考えられるので、そのあたりにもきめ細かな支援が必要になってくるのではと考えています。朝日から離れる際の理由として冬季間の雪がかなりの部分を占めていると思います。

委員

朝日地域振興計画について、具体的などころまでよく作ってありますが、今後実行に移す際にやはり予算や職員体制等もあり、すぐに全部は難しいと思います。具体策に優先順位をつけて年次的に進めてはどうかと思います。

また、参考資料1の総合計画の施策の大綱(素案)について、文言も相当吟味されてあり委員一人一人の思いが詰まっていると思うので、まとめるにしたがって思いが削られてしまったりしないよう、且つみんなに分かりやすい文面にしてもらえればと思います。今のままでは最後まで読み切るのも大変だと思います。

また、朝日は現在とても子供が少なく、それによるデメリットもたくさんありますが、その分一人一人に目をかけたり個性をみんなに見てもらえるなど良い面もあると思います。振興計画には子供たちの教育等の記述はないと思いますが、マイナスをプラスにするような発想が大切だと感じています。

聞いた話ですが、湯殿山スキー場のリフトを1基、予算の関係で稼働しないと聞きました。今後観光に力をいれる中で、お客がいったん離れてから再度スタートするのは大変ですので、予算的な対応等について考えてもらいたいと思いお話ししました。

産業建設課長

湯殿山スキー場のリフトについてお答えします。委員ご指摘のとおり第2ロマンスリフトについては廃止する事になりました。現在3系統4線のリフトがありますが、第2ロマンスリフトを実際に設置した業者は現在廃業しており、その後継としてメンテの技術のある業者が管理を行ってきました。第1、第3ロマンスリフトについては設置した業者がそのままメンテを行っていますが、第2ロマンスリフトのメンテを行っている会社から、これ以上メンテの対応はできないと言われている状況です。部品を交換するにしても作り置きが無く、現在あるものから型をとって注文製作で作らなければならない部品が非常に多くなってきており、スキー場を運営する側としてお客様の安全を確保することが困難と考えています。以上が廃止の理由ですが、第1、第3リフトも建設後20年を経過しており、かなり老朽化が進んでいることから、ゲレンデ全体を通して再度リフトの構成を考え、更新していきたいと思います。来年度以降のゲレンデの計画については、スキー愛好家や有識者の方からなる湯殿山スキー場再整備検討委員会(仮称)を発足させたいと考えてい

ます。単なる廃止ではなく、今後の再整備の一步とご理解いただきたいです。

支所長

最初の質問について、ご指摘のとおり庁舎の人員にも限りがあり、これだけの事業を来年から一気にできるのかという点と難しいと捉えています。後ほど資料2で地域振興計画に基づいた予算要求一覧ということで説明しますが、もちろん予算成立が前提とはなりますが、こちらの資料では実施年度が全て平成31年度とあります。しかし、事業によっては調査研究を行い、実際の事業展開はさらに後年度となることも考えられます。人員についても現在庁舎の在り方検討ということで、人員配置の適正化について検討している段階です。

なお、総合計画素案については先ほども説明があったとおりですが、資料自体が少し前の段階のもので分かりにくい表現となっており、今後委員の思いも加味しつつまとめられていくものと思います。この資料の後に本来であれば施策の中項目や小項目として箇条書きでまとめた資料もありますが、本日はページ数の関係でお配りしておりません。こちらには具体的にどのような事業を予定しているか記載されておりますが、次回の地域振興懇談会では皆様にお示しできるかと思います。

会長

それではここで一旦休憩します。5分後に再開します。

(休憩)

会長

それでは協議を再開します。事務局より(2)の説明を求めます。

(説明：事務局)

会長

それでは(1)及び(2)どちらに関する内容でも結構ですので、意見をいただきたいと思っております。

委員

今説明のあった地域まちづくり未来事業が全部実施されればよいなと思います。具体的な内容も前回伺っている事もありますが、現段階で決まった事などあれば説明してもらいたいです。

支所長

要求資料ですのでまだ決まったものは何もありませんが、今年度中にスポーツセンターのトイレの洋式化工事ができる可能性が少しあるようです。

委員

中高一貫校という話も耳にしたが、時代の変化に伴って子供たちも少なくなり地域の人口もますます減っていくのかと考えている。庁舎では時代が変わってこれから朝日地域の人口がどのように減っていくと考え、どのような思いでいますか。

支所長

現在中高一貫校の動きがあることは承知しています。今後中高一貫校ができて朝日地域からも進学する子供が出てくるとなると、朝日中学校の生徒数も一層減って

大変になるのではと考えていますが、庁舎としても具体的な説明を受けておらず情報が少ないため、今後様子を見ていきたいと思います。

委員

勉強を優先すると通学に便利なところへ移住して朝日地域の人口が減少することが心配されるので、どういう動きになるか見守りたいと思っているのですが、人が減るのはおもしろくないという気持ちです。

資料1の朝日地域振興計画案の7ページの中段にある施策の方向に記載されている、地域住民が住みなれた地域で安心・安全にいきいきと暮らしていけるように、次世代を担う人材の育成を進め、中山間地域の暮らしを守り支える取組みを行う、という内容は、私も共感しますしとても大事だと思います。

委員

資料1のお朝日地域振興計画案の5ページに朝日地域全体の年代別人口構成の推移があり、これを見てびっくりしたのですが平成27年度で65歳以上が37.6%もいて、人口減少だけでなく高齢化が進むと実感しました。施策の基本方針の、地域住民が住みなれた地域で安心・安全にいきいきと暮らしていける…に繋がると思うのですが、集落がそれぞれ離れて不便なところにあるため、テレビでも話題になっている高齢者の運転のこともこれからより問題になってくると思います。10年20年前から比べると、近くに買い物できる商店がなくなったように思います。車を運転できない人には不便だったり、車を運転していた人も年をとるので、高齢になって運転ができなくなったときに、集落毎に公民館等集まりやすい場所で商売ができ、高齢になっても商売に関われるようになることで福祉につなげられたらいいと常々思っていました。お金をかけることを先に考えずに今ある資源を利用して、例えば冬の雪に閉ざされた時期に山クルミなどをむく作業など手を動かす仕事をして、知り合いにあげたり自宅で消費したりするだけでもすごく喜ばれ、手先も動かすので頭もしっかりします。また、夏も野菜の葉をとってもらったり枝豆の実をとってもらったりと、手を動かすのが得意だったり体を動かすのが得意だったりする人はそれぞれいると思いますが、高齢者を負担になるものと扱わないで、できることをうまく生かして、それが収入になれば高齢になってもいきいきと暮らせると思います。でも車を運転して産直に出荷するためにラッピングして経理もしてとなると大変なので、そこは庁舎主導で公民館や空き家を活用して経理や売上など事務をする人がいて、集落毎に小さな作業所を作れば自家消費で終わっていたものがもっと回るでしょうし、そこにカフェがあったり生活に最低限必要な物がちょっと買えたり、そこで自分が作った農産物を置いて産直のようにすれば、親戚が来たときに買い物に連れていけたりと、もっと福祉をプラスに考えていけばいきいきと年をとっていけると思います。

委員

私は高校2年の子を持つ母ですが、資料2のNo5に高校通学時にバス定期を購入する保護者への支援を行うと、平成31年度からと記載がありますが、ぜひこれを叶えていただきたいと強く要望します。ただし、現行のバスの本数が非常に少ないことと土日も運行していないことで、定期購入に補助が出てもどのぐらいバス利用者

が増えるのか疑問が残ります。さらに要望させてもらえれば、定期だけでなく回数券にも補助していただけるとさらにありがたいと思います。

もう一点、菌茸栽培に関して、種駒については助成制度がありますが原木の確保や運搬についても何らかの補助制度をお願いできればと思います。

最後に、資料2のNo2 玄関前除雪事業で、玄関前除雪を行った際の費用に対する支援と簡単に書いてありますが、実情に即して考えてみると冬季間の日中に他所のうちの除雪までできる労力が本当にあるのかと、今朝もコミセンの中で話をしてきました。誰も自分の家の除雪で精一杯で、たとえ頼まれても手が回らないと思います。

それから冬期間になると独居非課税世帯には16,000円の屋根の雪下ろしに係る助成制度があります。大鳥地域においては落雪式に屋根を改築しているお宅が多く、屋根の雪下ろしの必要はないのですが、落ちてたまった雪を除雪するためにこの16,000円は該当しないということで、補助制度の対象となる要件をもう少し地域の実情に合わせて広くとらえて見直してほしいと思います。

総務企画課長

現時点で高校生バス定期補助について、回数券までは対象と考えておりませんでした。要望としてこれから検討させていただきたいと思います。玄関前除雪に関しては、ただいまお話いただいた意見ですとか具体的な課題等をもっとお聞かせいただければと思います。大鳥では3台、地域で所有している除雪機でオペレーターの方が出向いてあちこち有償で除雪すると聞いており、そのような事例をモデルにと考えていました。むしろ、ただいまいただいた意見のように実際に対象となる地域住民がどのようなことで困っているのか、どのような仕組みならよいかご意見をいただきながら制度設計を進めたいと思いますので、よろしくをお願いします。

産業建設課長

原木による菌茸栽培についてですが、ただいまの意見では原木を確保するのが大変ということでしたが、原木を購入する費用に対する支援なのか、原木自体が少なくて入手が難しいのか、国有林野からの原木が払い下げられた際の運搬に係る支援なのか、課題はいろいろ考えられます。運搬等に関わる事が課題だとすれば、共同で原木を確保して、有償となりますが希望するかたに引き取ってもらうという仕組みも検討できればと思います。原木確保といってもいろいろな課題が考えられますので、いろいろ課題を見極めながら施策として実施したいと思います。

会長

ただいま発言のあった委員の場合は労力的に大変だということだと思います。

委員

わたしの山には広葉樹が少なく、以前払い下げもあったのですが、私の家の栽培する場所まで遠いということがあり、大変だと感じています。

産業建設課長

営林署による原木の払い下げは、基本は希望者が運搬するため、労力を確保できない方はやはり不利ということになります。この点が課題だとすれば、森林組合を一旦介在することになりますが、森林組合が国有林で間伐した広葉樹を、希望者を

とりまとめて分配するという制度もよいかと今考えたところです。ただ原木が高価だからという理由で補助すると、先ほどの種駒でも説明した通り一般の商店の方が仕入れた時に補助があるのか、農家が種を買う時に補助があるのかという話と同じになりますので、問題の在り方を見極める必要があるものと思います。

市民福祉課長

雪下ろし助成について説明させていただきます。ご意見のとおりこの制度は屋根の雪下ろしと、雪下ろしを行った場合は下した雪の処理も補助対象とすることとなっておりますが、大鳥地区のように雪下ろしは不要で落雪後の処理が必要となるという件については、地域の課題ということで長寿介護課に課題提起したいと思いません。

会長

今お話しがあった雪下ろしの補助の他、雪下ろしをした後の排雪処理について市の助成もあります。小型の除雪機では無理なので大型の重機で家の周りを排雪してもらった時、その費用について一部補助される制度で、私の自宅も回りをある程度深く掘ってもらわないといけないので、毎年補助を受けて実施しています。参考まで。

委員

消防団としての立場で会議に出席しておりますので意見をさせていただきます。先ほども他の委員からお話がありましたが、資料1に地域防災力の強化という記載があり、具体的な施策の中でいろいろな整備を行うということが9ページに載っています。連携を図る部分では、消防団、自主防災会が合同で、分団ごと訓練を年1回ほど行っておりますが、分団長の会議で話にあがるのが地域住民の参加が少ないということで、なかなか自主防災会の活性化につながっていないと思います。今回ホース更新に予算を計上していますが、買って配備して終わりではなく、その後自主防災会をどのように活性化するか、行政でも面倒をみていただきたいです。自主防災会は各自治会長が会長を兼ねているところが多いのですが、自治会長も毎年のように変わるところもあり、どうしてよいか分からない方もおられると思います。ホースも購入して格納箱に入れて一度も使わなければより劣化も進むため、やはり訓練が重要だと思います。機材を買って終わりではなく、自主防災会の活性化まで合わせて計画に記述し、取り組んでももらえればよいと思います。

もう一つは、朝日庁舎が耐震性に問題があるということで建替えると以前も伺いましたが、今後どのように進んでいくのか説明していただければと思います。

総務企画課長

地域防災力の強化についてはおっしゃるとおりだと思います。計画に加筆をしながら地域にも浸透する形をとりたいと思います。例えば上田沢自治会では毎年消火栓から水を出して、地域住民総出で放水をするという訓練を行っています。これによりホースの点検にもなりますので、このような事例を紹介することで他の自治会の自主防災会も訓練に取り組んでももらえればと思います。

朝日庁舎の建替えについては、昨年度もコミセンとの一体的な利用ということでご説明したところではありますが、再度朝日庁舎としての考えも市長にお伝えしな

がら検討しており、現段階では現庁舎の敷地内に単独で建てるということで計画は進んでいます。イメージとしては羽黒庁舎のような形になるのと思いますが、計画以前の段階ではありますが、消防朝日分署も現敷地では狭く建物も老朽化しているため、こちらの敷地に一緒に建てることできないかというお話もいただいております。検討している段階です。次回の地域振興懇談会では説明できると思いますが、建て方や年度についてはまだ不透明な部分が多いため説明が難しいですが、平成 33、34 年度で建設工事をしたいということで計画をあげているところです。

委員

冒頭も若干申し上げましたが、何点かお願いをしたいと思います。まず朝日地域振興計画についてですが、7 ページ (2) 施策の基本方針のなかの最後に、中山間地域の暮らしを守り支える取組を行います。と、この一文をぜひ前文の 1 計画の策定主旨の所に入れてほしいと思います。というのは、朝日地域ならではの計画ですから、他と違うところ、中山間地域などの面を強調していくべきだろうと思います。

それから二つ目ですが、世帯の減少はデータにありますが世帯の減少率よりも家族数の減少率のほうが非常に高い。ということは高齢化して単身世帯もしくは高齢者夫婦の世帯が非常に多くなっていることだと思います。そういう環境の中で朝日の自然環境・地理的環境は未来永劫変わりありませんが、その中で文章中には自主的に、あるいは地域主体という言葉がほうぼうに出てきます。全くその通りだと思いますが、置かれている環境は少子高齢化が進み誠に厳しい。地域では役員のなり手がいない、あるいは共同作業の人足もできない、あるいは負担金をもらって何かを直そうとしても個人負担が大きくなっているという実態です。自主的、地域主体という言葉は非常に立派で当然そうあるべきですが、それすら容易でなくなっているという実態をぜひくみ取って、ハードのみならずやはりソフト面も支援しないと今後の地域は難しいと思います。

三つ目ですが、総合計画はこれから 5 年、未来事業は 3 年ということですが、非常に変化の激しい現代において資料に様々なデータも載せてありますが、私はデータが古いと思う。最新で 27 年の数値しかないが、半年でもどんどん人口は減っているし、今では高齢化率は 40% を超えているのではないかと。そういうことからすると今後 3 年、5 年を見据える時に、非常にデータが古いと思う。少なくとも平成 30 年度末ぐらいの数値など、新しいデータを提供してもらいたい。

それから、人口が多い時に作られた施設もたくさんあると思いますが、これだけ人口が減少して人の感覚や考え方も変わっていますので、やはり思い切って縮小なり廃止ということも視野に入れていかないと大変だと思います。例えば先日市営バスの会議において、一日 2、3 回しか走らない市営バスの他、スクールバスや園児バス、診療所バスが走っているのですが、法的規制はもちろん承知していますがこういう状況では工夫の中でできる方法はないか、混乗方式を検討する等がよい例ですが、本数も増え経費も大幅に削減されると思います。ですので、経費をおさえつつ、より住民の利便性が向上するような方法を模索すべきだと思います。

最後に、これだけ議論を重ねて立派な計画が作られるのですから、施策も含めて市民に対して広報活動に力を入れるべきだと思います。住民と行政が乖離しない形

で、せっかく作られた計画や制度がより充実して運営されるためにも、広報活動に配慮すべきだと思います。

事務局

資料のデータが古いという意見をいただきましたが、国勢調査の値を従前の朝日村の時代から用いて資料を作った関係で、現時点では古い部分もございます。一部はデータとしてありますので5ページのように単年度で示せるものは30年度末の数値でデータを出しているものもあります。この部分はいったん整理させていただきながら、過去の部分も図表化したうえで、できる範囲で新しい値を使いたいと思います。

副会長

高齢者がいきいきと生活できるということで、私なりに介護予防にぼんぼで100才体操をやったりコミセンのウォーキングに参加したり体力作りに取り組んでいます。このまちづくり未来事業にあるように、介護予防・健康増進事業としてかたくり温泉への支援ということは私も賛成ですので、ずっと継続していただければと思います。

それから議題とは関係ありませんが、私の家の近くに空き家が2件あり、なにも手つかずでおりますが、空き家周辺の雑草が管理もされていない為、誰が面倒をみるのかと近隣住民が嘆いています。獣の住処になっているようにも見て取れますが、そのような場合どうしたらよいのでしょうか。

総務企画課長

空き家対策はこちらの所管ですが、空き家になったから行政が管理するものではないと思います。あくまでも所有者に責任があるというのが第一義です。空き家の雑草が伸びたら市職員が草を刈りに行くということはありません。近隣住民や公共に被害が及ぶ場合においては行政の責任として対応する場合がありますが、まずは所有者に対して周りの方や自治会が声をかけていただき、それでもなかなか難しい場合はこちらにご相談いただければ対応をさせていただきますので、そのような順序でお考えいただきたいと思います。空き家の適正管理の補助制度も今年からできました。ただ要件がいろいろありますので、具体的な内容は担当職員と相談していただいて現場を見させていただきながら、いろいろ助言を行なったりできるかと思います。

会長

今回の議題である総合計画とはあまり関係ありませんが、私の住む地域でとても困っていることがあるのでお話をさせていただきます。私の住む大鳥地域は5年後には今以上に維持が難しくなるため、どうするかということが話題になり地域内で議論されていて、大鳥地区の3集落を一つにしてはどうかという案があがっています。ある程度試算もしていますが、現在自治会に交付されている交付金が一つの集落にまとまると“がぼっ”と落ちてしまうため、仮に合併しても交付金だけはこれまでどおり維持できるよい方法はないか等も話になっています。何しろ人がいなくなつて村の行事や共同作業が大変な集落もあるため、作業する時だけ3集落でまとまることも考えています。このような問題は数年前から話し合われていましたが、いよ

いよ現実的なものとなって具体的なこととして話し合わなければという認識を地域住民も持っていて、住民としても意見はいろいろありながらも絶対に反対するという人はいないようですが、やはり自治会への交付金がネックになっています。今後は遅かれ早かれ中山間地域はこのような話が出てくると思いますので、朝日地域全体の今後の課題として皆さんからも議論してもらえればと思います。情報提供しました。

予定の時間となりましたので、(3) その他に移りたいと思います。何かありますか。

委員

中学校PTAの関係ということで、先ほど他の委員から中高一貫校の話がありましたが、実は11月6日(火)19時から朝日中央コミセンで朝日中学校PTA研修会ということで、県の担当を呼んで、高校再編、中高一貫校の考え方と題して説明を受ける場を設けています。PTA関係者に限らずだれでも参加できますので、ぜひ時間があれば参加してもらえればと思います。

あと、このA3用紙の資料の、この10年間で鶴岡市朝日地域に大切なもの、コトというように鶴岡まちづくり塾朝日グループの参加者5名で作られたものは、地域に住む若者が朝日のことを考えているのが凄くいいなと思いました。このような活動も今後継続して、会員も年齢を重ねれば新しくまた新しく若者が入れ替わりで参加したりして、若者が地域のことを考えてくれるような活動が続いていけば朝日地域ももっと良くなっていくのではないかと、この資料をみて感じました。

委員

今お話しがでた、この10年間で鶴岡市朝日地域に大切なもの、コトという資料の中ほどに、家と仕事がすぐみつかるまちというタイトルの括りがあり、その中にかたく温泉の塩分を商品化して販売するというラベルがありました。私も将来的に本当に実現すればおもしろいと思いました。

会長

他に無いようでしたら以上で協議を終了します。今日皆様からいただいた貴重な意見を今後の計画策定に生かしていただきたいと思います。ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

総務企画課長

工藤会長ありがとうございました。本日皆様からご発言いただきました内容については、後日整理のうえ議事録にとりまとめ、ご出席の委員の皆様にご確認をいただいた後、鶴岡市ホームページで公開を予定しております。また、本日皆様からいただいたご意見を参考としながら引き続き地域振興計画の策定を進めますと共に、来年度の予算要求に向けた取り組みを進めて参ります。

その他皆様からなにかございますか。なければ閉会とさせていただきます。それでは閉会のご挨拶を副会長よりお願いします。

5. 閉 会

○副会長

お疲れ様でした。山の方には雪の便りも届いておりますので、皆さん風邪などひかないようにご

自愛願います。それではこれもちまして本日の朝日地域振興懇談会を終了させていただきます。
どうもありがとうございました。